

- 問1 弥生時代の遺跡からは、青銅器と鉄器という二種類の金属器が発見されています。鉄器が農具の刃先として普及したことが、当時の社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 青銅器よりも希少価値が高かったため、王の権威を示すための宝物としてのみ扱われた。
 2. 石器に比べて加工が簡単だったため、各家庭で容易に自給できるようになった。
 3. 土地の開墾や耕作が容易になり、食料である米の生産力が向上した。
 4. 農具が重くなったことで、小規模な家族単位での農業が不可能になった。
- 問2 弥生時代に大陸から稲作とともに伝わった金属器のうち、硬くて鋭利な特徴を活かして、木工具や農具、武器などの実用的な道具として広く普及したものは何ですか。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
1. 土器
 2. 青銅器
 3. 石器
 4. 鉄器
- 問3 弥生時代、土を耕すための農具や敵と戦うための武器には、青銅ではなく主に「鉄」が材料として選ばれました。このように鉄器が実用品として普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 鉄は青銅よりも融点が低く、当時の未熟な技術でも簡単に大量生産することができたから。
 2. 鉄は日本列島で独自に発見された金属であり、大陸から輸入する必要があった青銅よりも安価だったから。
 3. 青銅は非常に重く持ち運びが困難だったため、軽量の鉄が実用的な道具として好まれたから。
 4. 鉄は青銅に比べて硬度が高く耐久性に優れていたため、衝撃の加わる作業や戦闘に適していたから。
- 問4 弥生時代の3世紀、邪馬台国の卑弥呼が中国の「魏」に対して使いを送った目的と、その結果として当時の国際情勢から読み取れる背景として最も適切なものはどれか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
1. 隋の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して「日出づる処の天子」という国書を届けさせた。
 2. 全国的な徴税制度である大宝律令を確立させるために、中国から法制度の専門家を招いて政治改革を推進した。
 3. 中国の皇帝から倭の王としての正当性を認められることで、国内の諸勢力に対する支配力を強化しようとした。
 4. 日宋貿易を円滑に進めるために、大輪田泊のような港湾施設を整備して中国との経済的な結びつきを重視した。
- 問5 3世紀に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏へ使節を送り「親魏倭王」の称号や銅鏡などを得た背景について、当時の日本の状況を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 中国が日本に対して朝貢を強制し、従わない場合は貿易を禁止すると通告してきたため
 2. 国内の諸勢力が争う中で、中国という大国の後盾を得ることで自らの権威を高める必要があったため
 3. 日本の優れた絹織物を中国全土に普及させ、大陸での市場独占権を皇帝に認めてもらうため
 4. 魏の軍勢力を直接日本に呼び寄せ、反対勢力を武力で一掃して一気に領土を拡大しようとしたため
- 問6 弥生時代に大陸から伝わり、日本の社会を大きく変化した稲作の広がりについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 稲作は日本全土に均一に広まり、北海道や沖縄においてもこの時期に大規模な水田開発が行われた。
 2. 稲作は九州から始まり、東北地方まで広がったが、当時の気候や環境の影響もあり北海道や沖縄を除く地域に定着した。
 3. 稲作が伝わった直後に大王（おおきみ）と呼ばれる強力な支配者が現れ、全国の開墾を命令した。
 4. 稲作の普及により、それまで使われていた打製石器がすべて消失し、すべてが青銅器や鉄器に置き換わった。
- 問7 弥生時代に朝鮮半島から稲作が伝来したことで、縄文時代とは異なる社会状況が生まれました。生産力の向上や定住生活に伴って発生した出来事について、適切に説明しているものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 仏教が伝来し、各地で大規模な寺院の建設が始まった。
 2. 狩猟や採集が中心の生活となり、人々は獲物を求めて常に移動し続けた。
 3. 収穫した稲の分配や土地の所有をめぐって、むら同士の争いが発生した。
 4. 冠位十二階が定められ、個人の才能や功績に応じて役職が与えられた。
- 問8 弥生時代に製作された銅鐸や銅鏡などの青銅器について、その主な役割や目的として最も適切な説明はどれか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 大陸との交易において、通貨の代わりとなる経済的な手段として用いられた
 2. 集落間の争いにおいて、敵を攻撃するための強力な武器として用いられた
 3. 木材を加工したり土を掘り起こしたりするための実用的な工具として用いられた
 4. 稲作の豊穰などを願うための祭祀の道具として用いられた
- 問9 弥生時代の社会において、大陸から伝わった「青銅器」と「鉄器」の使い分けに関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 青銅器は祭りの道具として用いられ、鉄器は工具や農具として用いられた。
 2. 青銅器は主に通貨として流通し、鉄器は主に古墳の副葬品としてのみ使われた。
 3. 青銅器は書院造のような武家の住居を飾る装飾品として用いられた。
 4. 青銅器は鋭い切れ味を活かして農具に、鉄器は祭りの楽器に用いられた。
- 問10 邪馬台国の女王卑弥呼に関する記述として、最も適当なものはどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 日本で初めて本格的な都城である藤原京を造営し、国家体制を整えた。
 2. 魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号や多数の銅鏡を授かった。
 3. 摂政である聖徳太子とともに、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。
 4. 夫である天皇の死後、軍を率いて朝鮮半島へ出兵したという伝説がある。
- 問11 縄文時代末期に大陸から北九州地方へ稲作が伝来したことにより、その後の社会の仕組みはどのように変化しましたか。最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
1. 大陸との交易が独占されたため、各地の集落が独立したまま争いのない平和な時代が続いた。
 2. 全国で狩猟や採集が完全に行われなくなり、全ての集落が移動をしない定住生活を同時に開始した。
 3. 米を貨幣として使用する制度がすぐに確立し、中央集権的な国家が全国に一気に誕生した。
 4. 食料の保存が可能になったことで、蓄えの多寡による富の差や、土地や水をめぐる争いが生じるようになった。
- 問12 弥生時代に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏に使いを送った政治的な理由として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものを選択してください。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 律令国家の仕組みを学ぶために、魏の進んだ法制度や官僚機構を日本に導入して中央集権化を図るため。
 2. 「倭国大乱」と呼ばれる国内の激しい争いを鎮め、魏の皇帝から称号を得ることで国内における統治の正当性を示すため。
 3. 日本列島に迫っていた魏の軍事的侵攻を回避するため、多額の貢ぎ物を持参して講和を結ぶため。
 4. 鉄製農具の使用を全国に普及させるため、魏から大量の鉄資源を安価に輸入する独占的な貿易ルートを確保するため。